

# 東北地方太平洋沖地震による岩手県内陸部の 被害調査(3/20-21)

東京大学生産技術研究所

小長井一男  
清田 隆  
片桐俊彦

- 撮影日 3/21
- N39 30.133 E141 05.118
- 葛丸ダム下流部における斜面崩落と河道閉塞（河道閉塞は復旧済み）
- 斜面上の雪の状況から、3/11の地震では写真中央部が崩落したと考えられる（高さ65m）。
- 崩壊斜面下部は河道により普段より侵食が進んでいた可能性がある。
- 崩壊頭部では垂直、中段部の傾斜は60°程度





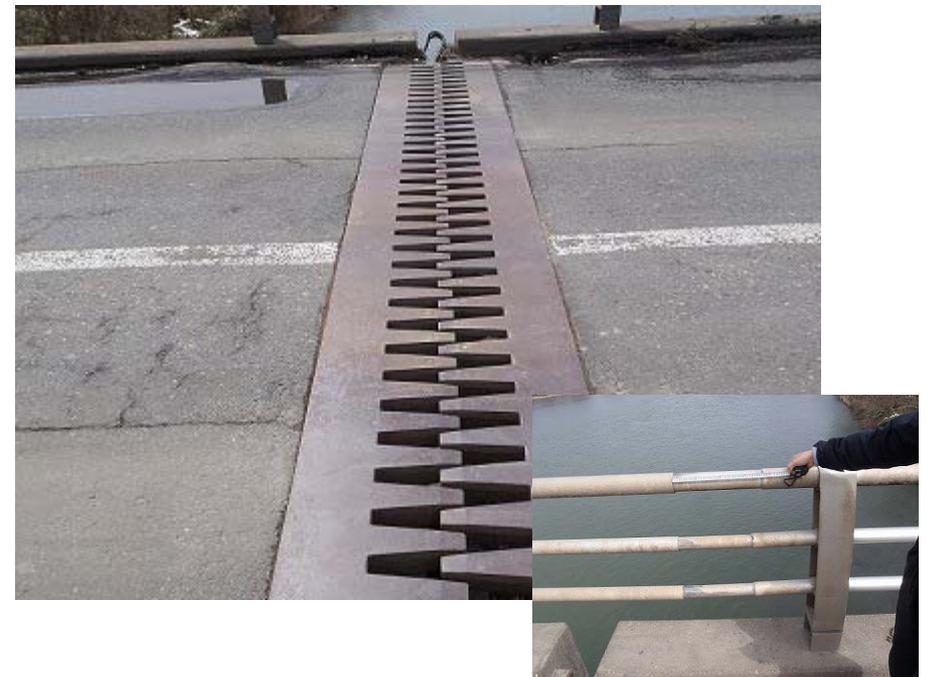
- 撮影日 3/20
- N39 23.083 E141 09.420
- 県道284号線の脇
- 橋梁手前の盛土がL=55mに渡って沈下



- 撮影日 3/20
- N39 20.578 E141 09.096
- 東北新幹線(455.842km)の橋脚の被害と補修状況
- 2003年三陸南地震時と同じ形態の被害が今回も発生(桁部分の柱のせん断破壊)
- 新幹線高架橋の被害はこのほかにも多数。
- 補強されていたものには被害は確認されなかった



- 撮影日 3/20
- N39 20.040 E141 09.196
- 北上川左岸堤防の被害の様子(覆いのため詳細不明)
- L=100mに渡り、天端道路にクラックが発生していると考えられる
- 堤内側のり面にL=26mの小崩壊。堤体は含水比の高い粘土質細砂であった。



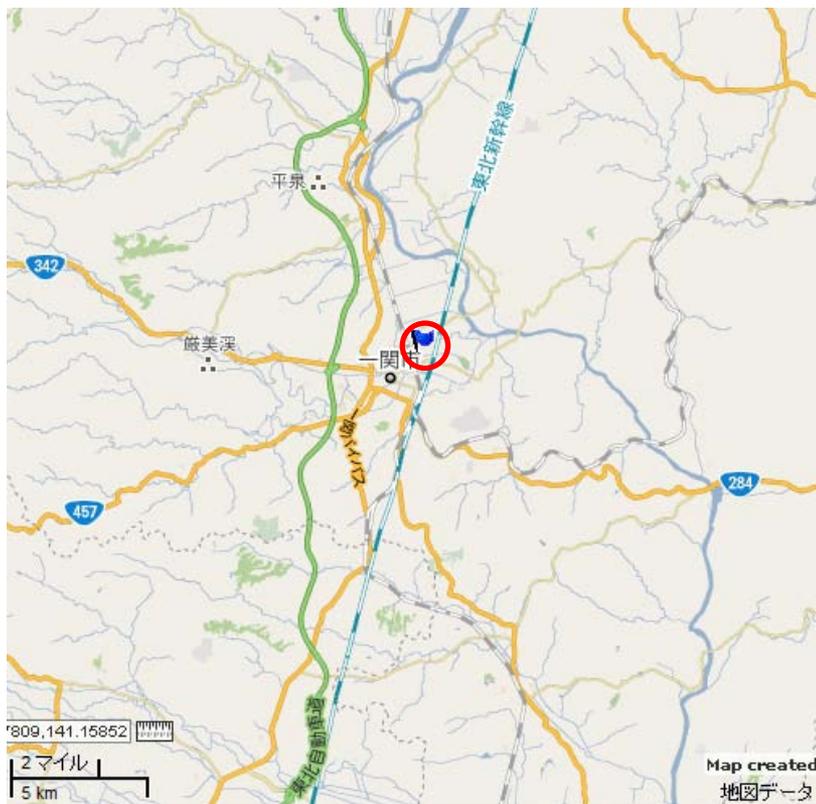
- 撮影日 3/20
- N39 15.129 E141 06.981
- 国見大橋(通行止め)
- 中央付近の橋桁ジョイント部が約 20~40 cm低くなる
- 橋脚に約 $1^\circ$  の傾斜。桁と橋台に開きが生じる



- 撮影日 3/20
- N39 15.069 E141 07.174
- テールアルメに被害は認められない



- 撮影日 3/20
- N39 17.477 E141 09.583
- 国道107号線の谷埋盛土(旧道)の崩壊。脇の107号バイパスは通行可能
- 崩壊幅は100m程度。崩壊がどこまで到達しているか未確認。



- 撮影 3/20
- N38 56.556 E141 08.262
- 一関遊水池周囲堤の被害(崩壊幅25m程度)
- 同様の被害が断続的に発生している
- 深いクラック(幅40cm, 深さ1.8m)が生じている。
- クラックには水位があり、小段と同じ程度の高さ
- 崩壊した堤体は粘土質細砂であり、クラックの中は液状化の痕跡有り